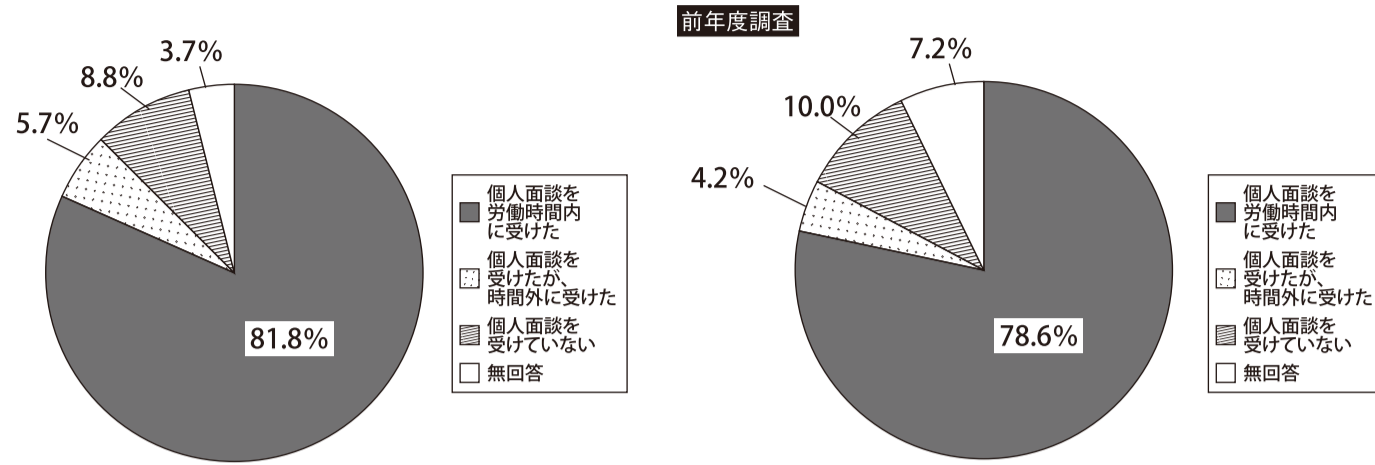
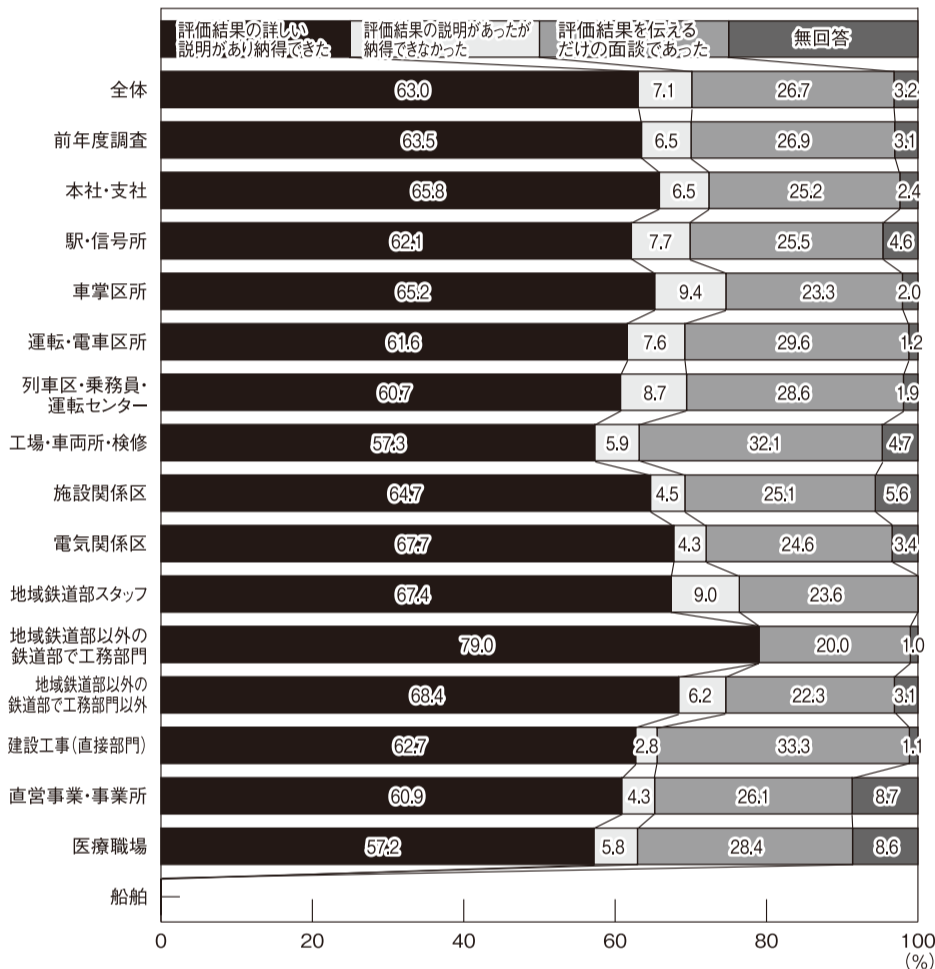


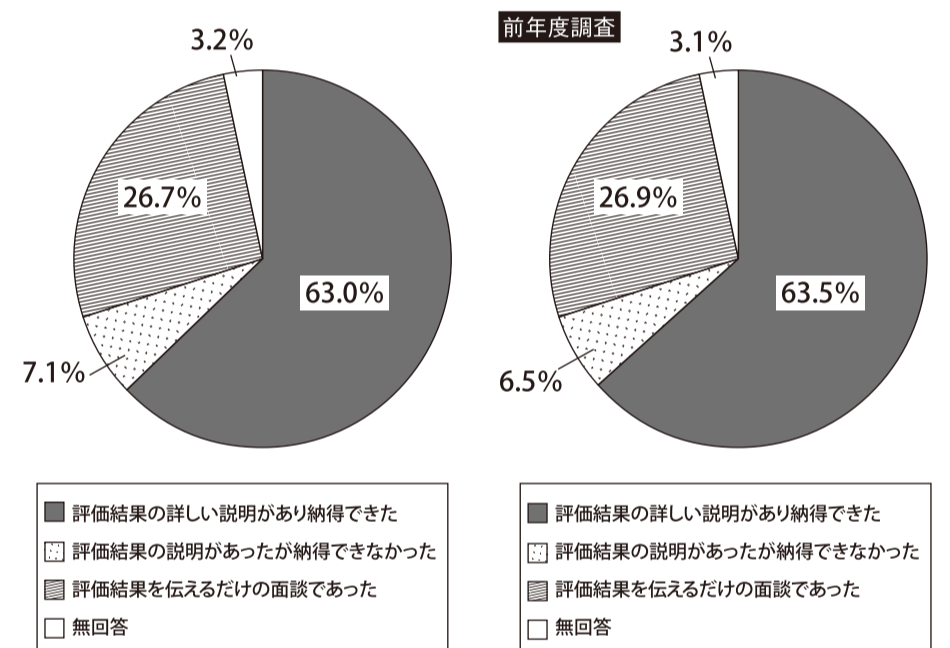
図III-6 面談の実態はどのようになっていますか



図III-8 面談内容はどのようなものでしたか(移行した方)



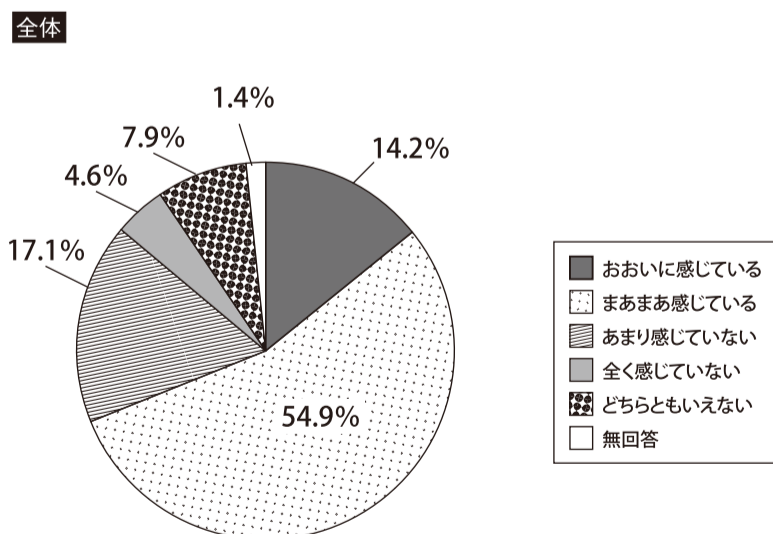
図III-7 面談内容はどのようなものでしたか



III-6 図
●面談の実態について
新賃金昇進制度を有効なものとするためには、公正・公平な評価がなされることが大前提である。そのためには、管理者との面談を充実させることが極めて重要である。時間内もしくは時間外に面談を受けている組合員は87・5%で前回より4・7%改善されたが、「時間外に面談を受けている」組合員が5・7%、「面談を受けていない」組合員が8・8%いることは憂慮すべきことである。(III-6 図)

職種別を見ると、「面談を受けていない」と回答したのは、駅・信号所が16・5%、電気関係区が15・6%と高く早急には是正する必要がある。面談内容については、前回と傾向に変化はないが、「納得できた」とする回答が63・0%に留まるなど、内容については改善が見られず、更なる改善も必要である。(III-7 図) (III-8 図)

図IV-1 今の仕事に働きがい・やりがいを感じていますか



IV 働きがいとやりがいについて
IV-1 図(円グラフ)及びIV-2 図について
現状の中で仕事に「働きがい・やりがい」を「大いに感じている」又は「まあまあ感じている」は、全体の69・1%、反対に「全く感じていない」「あまり感じていない」は21・7%だった。(IV-1 図)「大いに感じている」との回答の割合は、職場別で運転・電車区所が23・4%、列車区・乗務員・運転センターが22・0%と高くなっている一方で、工務系職場(施設・電気)や医療職場では10%以下の職場があることも留意すべきである。(IV-2 図)

概観すると若い世代の方がより働きがいを感じており、年齢が高くなるにつれ働きがい感が薄れている傾向がみられる。(IV-4 図)働きがいを感じる理由について聞いたところ、「責任を感じる」「やりがい・達成感がある」「誇り・使命感がある」との回答が多く、反対に働きがいを感じない理由は「やりがい・達成感がない」「仕事と生活のバランスがとれてない」「職場環境が悪い」「賃金が低い」との回答が多かった。

特に「働きがいを感じない」理由として、工務関係職場・医療職場、階層別ではL層で「仕事と生活のバランスがとれない」と回答した割合が多いのが特徴的である。(IV-3 図) (IV-4 図)